

平成27年4月12日
執行

札幌市長選挙
候補者

選挙公報

札幌市選挙管理委員会



無所属
須田 真功
52歳

女性と子供にやさしい街
明るい街札幌
根アかな街サッポロ

。僕が市長に立候補するのは、
市民が明るい街を望んでいる
市内が少くとも明るい街を望
10年か20年経てられれば
2026年の冬オリンピック・パラリンピックを推進するため、
もちろん一番大事なのは市民生活ですが……
地下鉄は延滞しにくい方針です。
一定の成果がでると思う、それが今の市政を動かす
のには何事もないと述べている。その中で、
今、日本が直面している東洋の危機を乗り越え、
札幌もその第一歩として、
歴史に答へ!!札幌の近代市長はんが
そして、僕も知代です。



あきもと かつひろ
秋元克広
59歳

市民の生命と財産を守り、活力ある街をつくる。
それこそがさっぽろのリーダーがなすべき仕事です。
私には、市民とともに
まちづくりをしてきた経験があります。
最後まで「やり遂げる力」があります。
確かな判断力と実行力で直面する課題を解決し、
190万人の暮らしを守り、
元氣な札幌を未来につぎます。

35年の行政経験をカに。
私には、できる。



つづける、つなぐ、つぎへ

- 地元企業の受注拡大に努め
入札契約制度の改善を行います
- 中小企業や商店街を活性化します
- 丘陵空港の利用促進に取り組みます
- 待機児童ゼロ対策と子育て支援を強化します
- 児童の放課後の居場所づくりと
留守家庭児童対策に取り組みます
- 冬季オリンピック・パラリンピック招致に合わせ
地下鉄清田方面の延伸を検討します
- 子どもが安心して暮らせる環境をつくりま
- 高齢者や障がい者の社会参加促進に向けて
公的施設などのバリアフリーや
移送サービスを充実します
- 安心して医療介護サービスを受けられる
地域包括ケアシステムを構築します
- 孤立死ゼロをめざします
- 「原発に依存しない社会」をめざします
- 持続可能な除雪体制を再構築します
- 市民サービスの質向上に徹底的に取り組めます

プロフィール 1956年 2月2日夕張市生まれ。夕張北高校・北海道大学法学部卒業。1979年 札幌市役所入庁。
2005年 市民まちづくり局企画部長 / 2008年 南区長 / 2009年 市長政策室長 / 2012年 副市長

窓口での対応業務、企業誘致、都心部の交通環境改善、まちづくりに関する企画調整・財源確保など多岐
な仕事に携わり、市民との協働を経験してきました。大切にしていたのは「徹底した地域主義」。これからも多くの
市民の思いに誠実に向き合い、培ってきた知識と経験をもって「魅力あるさっぽろ」を実現します。

ホームページで政策を公開しています <http://www.sapporo-akimoto.jp>

くらし・福祉・子育て最優先の札幌を



はるき
春木 ちえ
日本共産党

憲法を生かし
人にやさしい元氣な札幌市へ

私は、脱原発、憲法をまもる上野市政の積極面を称賛します。今、安倍政権の暴走政治が、市民に押し寄せています。くらしと福祉に冷たい市政を転換し、国の憲法の「防衛権」となります。市民のくらしや福祉、平和をまもり、子どもたちの未来と希望をまもり、札幌市政をつくりまします。私は、「平和都市宣言の街」の市長として、集団的自衛権行使容認の閣議決定への撤回を強く求めたいです。「憲法9条を守る首長の会」にも参加したいと考えています。

私、春木ちえは、「市民が主人公」の札幌市政を実現していきます。

春木ちえの7つのプラン

- ① 医療・介護・福祉
国保料を1世帯1万円引き下げ。市独自の介護保険料、利用料軽減制度実現。福祉灯油実施。
- ② 子育て・教育
子ども医療費（通院）無料化を中学校卒業まで拡大。保育料10%引き下げ。少人数学級の実施。
- ③ 雇用・仕事
公契約条例制定。住宅リフォーム助成制度を使いやすく改善。特養ホームと保育所を建設します。
- ④ まちづくり
路線バスと地下鉄、路面電車などの総合交通体系を確立。不要・不急の大型開発はしません。
- ⑤ 原発のない社会へ
治原発は再稼働せず廃炉を求めます。再生可能エネルギーを抜本的に活用。
- ⑥ 憲法・平和
憲法9条をまもり、「戦争する国づくり」は許しません。「平和都市宣言の街」として平和をまもります。
- ⑦ 財政
くらし第一に予算を使います。活用できる基金も「財調基金」が125億円（2014年度末残高見込み）、「土地開発基金」が13億円、「まちづくり推進基金」が209億円あり、有効に活用します。

検索は
『春木ちえ』で

harukichie.blogspot.jp

春木ちえプロフィール

1956年 北海道札幌市生まれ
1979年 北海道大学法学部卒業
1980年 日本共産党札幌市支部長
1981年 札幌市議会議員
1982年 札幌市議会議員
1983年 札幌市議会議員
1984年 札幌市議会議員
1985年 札幌市議会議員
1986年 札幌市議会議員
1987年 札幌市議会議員
1988年 札幌市議会議員
1989年 札幌市議会議員
1990年 札幌市議会議員
1991年 札幌市議会議員
1992年 札幌市議会議員
1993年 札幌市議会議員
1994年 札幌市議会議員
1995年 札幌市議会議員
1996年 札幌市議会議員
1997年 札幌市議会議員
1998年 札幌市議会議員
1999年 札幌市議会議員
2000年 札幌市議会議員
2001年 札幌市議会議員
2002年 札幌市議会議員
2003年 札幌市議会議員
2004年 札幌市議会議員
2005年 札幌市議会議員
2006年 札幌市議会議員
2007年 札幌市議会議員
2008年 札幌市議会議員
2009年 札幌市議会議員
2010年 札幌市議会議員
2011年 札幌市議会議員
2012年 札幌市議会議員
2013年 札幌市議会議員
2014年 札幌市議会議員
2015年 札幌市議会議員
2016年 札幌市議会議員
2017年 札幌市議会議員
2018年 札幌市議会議員
2019年 札幌市議会議員
2020年 札幌市議会議員
2021年 札幌市議会議員
2022年 札幌市議会議員
2023年 札幌市議会議員
2024年 札幌市議会議員
2025年 札幌市議会議員
2026年 札幌市議会議員
2027年 札幌市議会議員
2028年 札幌市議会議員
2029年 札幌市議会議員
2030年 札幌市議会議員
2031年 札幌市議会議員
2032年 札幌市議会議員
2033年 札幌市議会議員
2034年 札幌市議会議員
2035年 札幌市議会議員
2036年 札幌市議会議員
2037年 札幌市議会議員
2038年 札幌市議会議員
2039年 札幌市議会議員
2040年 札幌市議会議員
2041年 札幌市議会議員
2042年 札幌市議会議員
2043年 札幌市議会議員
2044年 札幌市議会議員
2045年 札幌市議会議員
2046年 札幌市議会議員
2047年 札幌市議会議員
2048年 札幌市議会議員
2049年 札幌市議会議員
2050年 札幌市議会議員
2051年 札幌市議会議員
2052年 札幌市議会議員
2053年 札幌市議会議員
2054年 札幌市議会議員
2055年 札幌市議会議員
2056年 札幌市議会議員
2057年 札幌市議会議員
2058年 札幌市議会議員
2059年 札幌市議会議員
2060年 札幌市議会議員
2061年 札幌市議会議員
2062年 札幌市議会議員
2063年 札幌市議会議員
2064年 札幌市議会議員
2065年 札幌市議会議員
2066年 札幌市議会議員
2067年 札幌市議会議員
2068年 札幌市議会議員
2069年 札幌市議会議員
2070年 札幌市議会議員
2071年 札幌市議会議員
2072年 札幌市議会議員
2073年 札幌市議会議員
2074年 札幌市議会議員
2075年 札幌市議会議員
2076年 札幌市議会議員
2077年 札幌市議会議員
2078年 札幌市議会議員
2079年 札幌市議会議員
2080年 札幌市議会議員
2081年 札幌市議会議員
2082年 札幌市議会議員
2083年 札幌市議会議員
2084年 札幌市議会議員
2085年 札幌市議会議員
2086年 札幌市議会議員
2087年 札幌市議会議員
2088年 札幌市議会議員
2089年 札幌市議会議員
2090年 札幌市議会議員
2091年 札幌市議会議員
2092年 札幌市議会議員
2093年 札幌市議会議員
2094年 札幌市議会議員
2095年 札幌市議会議員
2096年 札幌市議会議員
2097年 札幌市議会議員
2098年 札幌市議会議員
2099年 札幌市議会議員
2100年 札幌市議会議員

もったいない! mottainai!

～将来のフタにつながる、2026年冬季札幌オリンピック招致を撤回します～

財政

- 財政のムダ遣いをしません。
- 地下鉄の清田区役所への延伸に反対し、市電ループ化を中止します。
- 予防医療に力を入れ、医療費負担を減らします。
- 小学生まで医療を無料にします。



生活

- カラスに強い箱型ごみステーションの公道設置へ
- 脱原発依存と新電力の支援により、光熱費負担の軽減
- 除雪パートナーシップの地域負担を9割補助
(1割負担を残し、対象道路選びから政治力を排除)
- バスの利便性を高め、増便します。



経済

戦略特区を申請し、最低賃金を高め、経済を強くします。

- 創業5年以内の企業に対する法人税を、17%以下へ
- 従業員300人を超える民間企業の最低賃金を時給1,500円へ
- 大規模社会福祉法人や自治体・政府機関等は1,000円へ



教育

- 中高一貫校の増設と抽選入試の廃止
- 学力テストの学校別成績を公開し、地域による校長の評価
- 保育料は出生順に区別をつけず、第一子から一律3割負担に

詳しくはwebで! <http://www.lida-yoshihiro.com/>

【経歴】飯田佳宏(42才)
昭和48年生まれ、羽根町出身。札幌手稲高校・北海学園大学卒。経済学部二部在学中より選出、不動産賃貸、個人投資家などの自営業と衆議院議員の公設第一秘書を務めるなどしたのち、現在ベンチャー投資家として、IT企業の顧問・マーケティングアドバイザーとして活躍中



飯田佳宏
いいだよしひろ

脱政党で冬季五輪の札幌招致を撤回する会

札幌の未来を本間なな^{45歳}に託してください。

生活道路の除排雪を市負担で実施! IC乗車券「サビカ」をJRでも利用可能に!

プロフィール

□ 昭和44年5月4日福岡県生まれ。早稲田大学法学部を卒業後、自治省に入省。札幌市企画調整局企画部企画課長、愛知県春日井市副市長、総務省自治大学校研究部長などを経て、現在に至る。

○ 家族: 夫と子ども2人(高校生、中学生)

<http://nanahomma.org>

ホームページで
動画配信中

ぜひご覧ください。

本間なな で 検索

本間ななの重点政策

- 1 国・北海道と連携を図り、冬季オリンピック・パラリンピックの招致、北海道新幹線の早期札幌延伸を実現させます!
- 2 札幌の産業や観光を振興し、経済の活性化を図り、雇用を生み出し、若者が働ける活力あるまちをつくります!
- 3 安心して子どもを生み、育む環境を整備し、待機児童の解消を図ります。また、女性が活躍できるまちをつくります!
- 4 超高齢社会に向け、医療や介護などの専門機関と連携し、高度医療から予防医療、健康づくりまで、誰もが恩恵を受けられる健康医療先進都市をめざします!
- 5 地下鉄の清田区方面への延伸、丘珠空港の活性化などを視野に入れ、総合交通体系を見直し、交通アクセスを充実させていきます!
- 6 行政と地域住民の協働により、地域防災力を強化するとともに、冬の安心・安全な暮らしを守るため、とくに生活道路の除排雪に総力を挙げて取り組みます!
- 7 体力・学力を育む子どもの力を伸ばすまちをめざします!

私の決意

● 私には、やるべきことがあります。

大膽な人口減少に伴うさまざまな課題に向け、新たな時代を切り拓かなくてはなりません。

● 私には、18年間の国と地方の行政経験があります。

そして子育て世代の本間ななだからこそ、生活者の視点を政策に反映することができ、

● あなたの声を受けとめて本間ななはやり抜きます!



無所属
本間なな

投票日 4月12日(日)
投票時間 午前7時から午後8時まで